

(施策評価表19)

【施策番号 I-3-①-3】

取組みの方向性	活力を創る	戦略	【戦略3】地域力を高める ～政令指定都市以外の地域振興を重点的に進めます～	主な施策	◆スポーツを振興する ～ロアッソ熊本などを生かしたスポーツによる地域活性化～
			①交流拡大による地域振興		

1 取組内容	2 主な事業	担当課	H25予算(千円) H24決算(千円)	3 平成24年度の主な成果	4 平成25年度の推進方針・推進状況	5 施策を推進する上での課題	6 今後の方向性	
<p>・ 県民に夢や感動を与えるトップアスリートが、本県から数多く羽ばたくよう関係機関と連携し、武道を含め本県のスポーツの競技力向上に向けた取組みを進めます。</p>	優秀競技者・指導者育成支援事業	体育保健課	5,000 4,967	<p>・ 優秀競技者・指導者育成を目的に、トップアスリートによる実技指導や専門性の高い講師による導法等の講習会等を16競技団体において実施した。第67回国民体育大会において天皇杯順位(男女総合成績)は23位とH23年より5つ順位を下げたが、皇后杯は12位となった。陸上競技成年男子100m優勝や柔道少年女子団体優勝を含め7種目において優勝を果たすことができた。一方、本県伝統の武道競技やジュニア層の得点力に陰りが見られた。</p>	<p>・ 各競技に秀でた指導者のトレーニング法やスポーツ医・科学などの選手サポート等の情報について、練習会や研修をとおして、県内競技者・指導者の育成を図る。</p> <p>・ 競技人口の減少に歯止めをかけ、裾野を広げるため、子どもたちのスポーツへの興味関心や意識の高まりを目標に、施設用具等を充実させ、練習会等をとおして新たな競技種目へチャレンジする機会を増やす。</p>	<p>・ 国体、オリンピック選手をはじめ国内外の優秀な選手、指導者を招へいし、直接指導をしてもらうことは、将来のトップアスリートへの動機付けに効果的であり、多様な種目での招へいが望ましいため、一過性ではなく継続的な事業として実施する必要がある。</p> <p>・ 施設の老朽化にともない、種目によっては多額の整備費用が必要である。</p>	<p>・ ジュニア選手の強化育成を図り、低下傾向にある競技力を再度向上させる。そのため、具体的な目標として、国体での天皇杯15位以内の定着を目指す。</p> <p>・ 各種目についての裾野を広げる長期的な取組みと並行して、トップアスリート輩出のための動機付けを支援する。</p>	
	子どものスポーツ環境整備支援事業	体育保健課	20,000 -					
<p>・ ロアッソ熊本や県内アスリートと連携し、地域の活性化及びスポーツの振興に取り組み、子どもからお年寄りまで、県民が地域でスポーツを楽しむ環境づくりを推進します。</p>	ロアッソ熊本支援 県民運動推進事業	地域振興課	9,210 9,489	<p>・ 県内におけるサッカーの普及や子どもたちの夢づくりや、地域活性化及びスポーツ振興に関する取組みを促進するため、サッカー教室及び交流会を19回開催し、969名の参加を得るなど、県民のスポーツを楽しむ環境づくりに貢献した。</p> <p>・ 県民とロアッソ熊本の交流を図る機会をさらに増やすため、H23年度末に整備されたスポーツ交流館(県民運動公園内)を活用して、サッカー教室及び交流会を5回開催し、202名の参加を得るなど、子どもからお年寄りまで、県民が地域でスポーツを楽しむ環境づくりを推進した。</p> <p>・ 「総合型地域スポーツクラブ」の設立・育成支援を行い、H24年度末までに累計64クラブが設立され、6クラブが設立準備中となった。</p> <p>・ 地域スポーツ推進リーダー研修会を3地区(県央・県北・県南)で実施し、86人の参加が得られた。地域スポーツの推進を担う指導者やクラブマネージャー、スポーツ推進委員の資質向上を図ることで、地域でスポーツを楽しむ環境を強化した。</p>	<p>・ サッカーを通じた地域活性化及びスポーツ・文化の振興を図るため、サッカー教室等を引き続き実施する。</p> <p>・ スポーツ交流館を拠点とした県民との交流事業を引き続き実施する。</p> <p>・ 「総合型地域スポーツクラブ」の設立・育成を引き続き支援する。</p> <p>・ 地域スポーツの活性化のため、地域スポーツの推進役である指導者等に対する研修会を引き続き実施する。</p>	<p>・ 「総合型地域スポーツクラブ」の指導者の不足や財政基盤が不安定等の課題があるため、これらの支援策が必要である。</p>	<p>・ 地域スポーツを推進する「市町村行政スポーツ担当者」・「各市町村スポーツ推進委員」を、国や県の重点施策である「総合型クラブ」に不可欠なクラブ経営マネジメント力を有した人材として育成する。この人材を、地域のスポーツ推進の調整役として確実に確保していくものとし、全市町村に毎年一人ずつ、4年間で全県下に180人を養成する。</p>	
	ロアッソ熊本の活用による地域振興・街づくり事業	地域振興課	2,538 2,532					
	総合型地域スポーツクラブ育成支援事業	体育保健課	1,632 438					
<p>・ 熊本を全国に発信し、子どもたちの夢にもつながるロアッソ熊本を県民一丸となって支援します。</p>	ロアッソ熊本支援 県民運動推進事業	地域振興課	9,210 9,489	<p>・ 県内145の企業・団体・自治体等と協調し、ロアッソ熊本を運営する(株)アスリートクラブ熊本に対する出資を通じて財政面から支えるとともに、熊本市や県体育協会等主要な団体・企業で構成する「ロアッソ熊本をJ1へ」県民運動推進本部に参画し、ロアッソ熊本支援県民運動推進事業によりサッカー教室等県民との交流事業等に取り組み、熊本県民が一丸となってロアッソ熊本を支援する体制づくりに貢献した。</p> <p>・ 県民総合運動公園における練習場の確保等の支援を行うとともに、経営強化を図るため、ロアッソ熊本支援事業により、うまかな・よかなスタジアム施設利用料金の1/2減免、スポーツ交流館施設使用料(管理許可範囲)の1/2減免及びうまかな・よかなスタジアムの広告使用料(常設を除く)を全額減免し、ロアッソ熊本の継続した活動に貢献した。</p>	<p>・ 県民にとってロアッソ熊本を身近に感じることができるよう、地域で開催されるサッカー教室やイベント等へのロアッソ熊本の選手の派遣に係る費用等を助成する。</p> <p>・ 県内各地域からホームゲームへの観戦バスツアーに係る費用を助成する。</p> <p>・ アウェイゲーム等において、熊本の認知度向上を図るために観光・物産のPRを行う。</p> <p>・ スポーツ交流館を拠点としたサッカー普及事業やロアッソ熊本のホームゲームを活用した親子のふれあい事業等を推進する。</p> <p>・ ロアッソ熊本からの要請に応じ、施設利用料金の減免等を継続する。</p>	<p>・ J1への昇格をめざすロアッソ熊本が今後安定して実力を発揮していくためには、運営会社である(株)アスリートクラブ熊本の財政面の強化及び安定化が必要。そのため、営業収入の基幹となる観客動員数を増やしていく必要がある。</p> <p>・ ロアッソ熊本をいわばオール熊本で支援する機運を更に高めていくため、県民運動推進本部と連携し、ロアッソ熊本の広報活動等を一層充実させていく必要がある。</p> <p>・ 今後導入される「クラブライセンス」の交付を受ける条件として、現在、(株)アスリートクラブ熊本が抱える約7,100万円の債務超過をH26年度決算までに解消する必要がある。そのため、同社の観客動員数の拡大方策をはじめ経営再建に向けた取組みを注視していく必要がある。</p>	<p>・ 1試合あたりの平均観客動員数7,000人以上の目標が達成され、ロアッソ熊本の運営が安定するよう取り組んでいく。</p>	
	ロアッソ熊本の活用による地域振興・街づくり事業	地域振興課	2,538 2,532					
	運動公園管理費のうちロアッソ熊本支援事業	体育保健課	8,000 8,970					
主な施策のまとめ				<p>●「総合型地域スポーツクラブ」の設立・育成支援を行い、H24年度末までに累計64クラブ設立、6クラブが設立準備中。</p> <p>●県民とロアッソ熊本の交流を図る機会をさらに増やすため、H23年度末に整備されたスポーツ交流館(県民運動公園内)を活用して、サッカー教室及び交流会を5回開催し、202名参加。</p>	<p>●「総合型地域スポーツクラブ」の設立・育成を引き続き支援。</p> <p>●県民にとってロアッソ熊本を身近に感じることができるよう、地域で開催されるサッカー教室やイベント等へのロアッソ熊本の選手の派遣に係る費用等を助成。</p>	<p>●「総合型地域スポーツクラブ」の指導者不足や不安定な財政基盤等の問題への対応。</p> <p>●「クラブライセンス」の交付を受けるため、(株)アスリートクラブ熊本が抱える約7,100万円の債務超過の解消。</p>	<p>●「総合型クラブ」の環境づくりを担当する人材を、地域のスポーツ推進の調整役として、全市町村に毎年一人ずつ、4年間で全県下に180人を養成。</p> <p>●1試合あたりの平均観客動員数7,000人以上の目標達成とロアッソ熊本の運営の安定化。</p>	